

仕 様 書

- 1 工 事 名 粉末消火設備用加圧用ガス容器等取替修繕工事
- 2 工事場所 北見市末広町356番地1
北海道立北見高等技術専門学院 1階 機械室
- 3 工 期 契約締結の翌日から令和6年(2024年)3月8日まで
- 4 工事概要 粉末消火設備用の加圧用ガス容器等の取替修繕工事
- 5 使用部材等

名 称	摘 要	数量	単位
加圧用ガス容器	窒素ガス 68L 容器弁付	4	本
起動用ガス容器	二酸化炭素ガス 1L	1	本
容器開放装置		4	個
書類作成費	消防署等の官公庁への届出書類等		
運搬費	工場から現地、現地から廃棄場所まで	1	式
搬入・搬出費		1	式
機器取付調整費		1	式

※ 容器弁及び容器開放装置の製造会社：日本ドライケミカル㈱

6 特記仕様

- (1) 1階機械室に設置されている既存の機器を取り外し、更新する上記の機器（窒素ガス及び二酸化炭素を充填済みのもの）を取り付けること。
なお、銅管等は既存のものを再使用する。
また、加圧式ガス容器は既存の架台（寸法は1,300×360×1,850mm）に取り付けること。（容器の大きさ等は別添図1、架台の構造は図2を参照すること。）
加えて、起動用ガス容器は、既存の日本ドライケミカル㈱製の格納箱（型式 DS-1SD、寸法は180×200×710mm）に格納すること。（容器の大きさ等は図3、格納箱の構造は図4を参照すること。）
- (2) 請負業者は、消防設備士甲種3類の有資格者を施工期間中配置し、往来人及び工事現場の事故防止等安全性に努めること。
- (3) 作業中及び工事完了に関しては、整理・清掃を行うこと。
- (4) 工程写真及び完成写真は、北海道建設部建築局建築保全課監修営繕工事記録写真撮影要領による。ただし、軽微な工事においては、監督員の承諾により省略できる。
- (5) 施工に際しての不明な事項については事前に監督員に確認すること。また、施工中に支障が生じた場合は、監督員に確認のうえ対処すること。
- (6) 既存の機器及びガス等は回収すること。
- (7) 施工に際し生じた金属くず等の産業廃棄物については、関係法令に基づき適切に処理すること。
- (8) 消防署等の官庁への届出が必要な書類を作成すること。
- (9) 設備の配置・系統は図5・6のとおり。